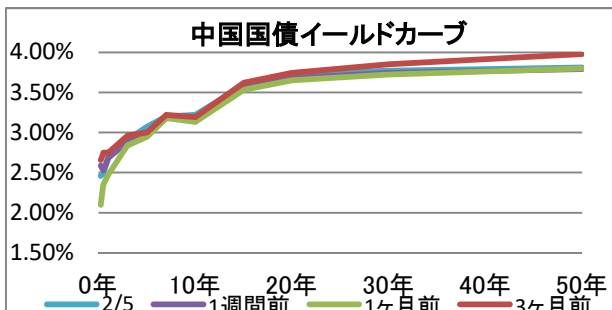
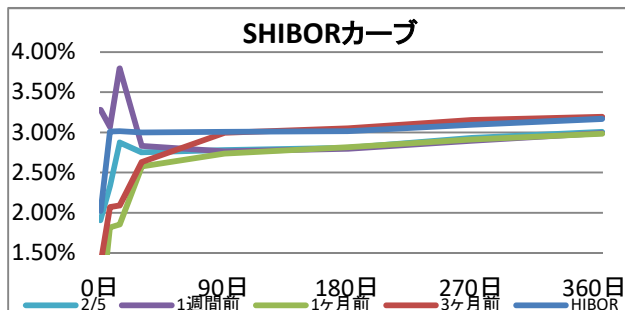


①市場概況

基準レート		2021/2/5	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4710	0.0001
	JPY/CNY	6.1296	-0.0725
SHIBOR	3M	2.7790%	+0.0140%
国債利回り	10年	3.22%	+0.04%
上海総合指数		3,496.33	+13.26



(1) 概況

米国金融市場は個人株主の投機的取引による株式市場での混乱の影響はあったものの、新型コロナウイルス感染拡大鎮静化に対する期待や非製造業PMIが高水準となったこと等から株高、債券安、ドル高となる中、中国金融市場は春節休暇を前に国内景気動向や金融政策を見極めたいとの姿勢が強まり総じて小動きとなった。

李克強首相は、マクロ経済政策について連続性、安定性、持続性を確保しながら、改革開放や科学技術を活用して経済成長を合理的な範囲内に保持するとの方針を改めて確認している。

中国人民銀行は、2021年の金融政策は右でも左でもなく（緩和でも引き締めでもなく）あらゆる政策手段を用いて流動性を合理的で充足する水準を保持するとしている。また、金融科学技術会議において国家金融科学技術リスクコントロールセンターを設立して金融科学技術の監督を強化することや、デジタル通貨研究所等がSWIFTと情報システムとデータ処理に関する合併会社を設立している。

債券通における国外投資家による債券取引額（1月）は、米中の金利差を背景に過去最高を更新している。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日3,840億元に対し、新規リバースオペ4800億元を実施し、差引き960億元を供給している。春節休暇前としては相当程度抑制された供給規模に止まっている。

(3) 主な経済指標

・国家統計局のPMI（1月）は、製造業が51.3（12月51.9）と5ヶ月来の低水準となり、非製造業が52.4（同55.7）、総合でも52.8（同55.1）に低下している。1月は春節前の企業活動水準が低下する時期ではあるものの、受注、生産ともに回復速度の減速を示す内容となった。

・財新のPMI（1月）は、製造業が51.5（12月53.0）と7ヶ月来の水準に低下し、サービス業が52.0（同56.3）、総合でも52.2（同55.8）に低下している。輸出を主因として新規受注や生産が減速し、雇用水準も悪化している。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.9090%	2.0000%	1.8900%	
1W	2.3380%	2.6000%	2.6000%	2.6200%
2W	2.8770%	2.9000%	2.9000%	2.6500%
1M	2.7530%	2.9500%	5.0000%	2.7100%
3M	2.7790%	2.9500%	3.0000%	2.9400%
6M	2.8070%		2.8500%	3.0400%
9M	2.9320%	3.3000%		3.1000%
12M	3.0070%			3.1400%

1月末の財政資金供給に加え中国人民銀行が連日1,000億元の資金供給を続けたものの、経済指標が減速しつつも景気拡大を示す内容となり、中国人民銀行が新型コロナウイルス感染拡大以降の金融緩和策を収束させる方向性に転じたと考えられていることや春節連休に備えた現金需要も高まっており、ターム物の金利水準は高止まっている。ターム物の出合いは1ヶ月の2.80%前後での出合いを除き限定的となっている。

NCDは、資金需給の改善もあって、一旦は金利水準が低下したものの高止まりの状況が続き、資金需要の高さから活発な取引が続く中で金利上昇が続いている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.70%前後、3ヶ月物が2.90%前後、6ヶ月が3.00%前後、1年は3.10%を上回る水準で取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	0.01%	0.02%
1W	0.03%	0.04%
1M	0.12%	0.13%
3M	0.30%	0.35%
6M	0.45%	0.50%
12M	0.65%	0.70%

春節休暇を間近に控えているものの、金利水準も概ね横ばいでの推移となっており、金利水準は、1ヶ月が0.15%前後、3ヶ月が0.30%前後での取引が続いている。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.46%	2.44%	2.91%	3.11%	3.70%
6M	2.49%	2.50%	3.04%	3.12%	3.71%
1Y	2.70%	2.73%	3.10%	3.18%	3.77%
3Y	2.91%	3.06%	3.47%	3.65%	4.34%
5Y	3.07%	3.22%	3.69%	3.86%	4.58%
10Y	3.22%	3.55%	3.97%	4.15%	4.94%

債券市場では、短期資金市場での金利水準低下により短期債の利回りは低下したものの、景気回復が続いていることもあって中国人民銀行の金融緩和策の転換は不可避と考えられていることから、中長期債利回りは総じて上昇している。イールドカーブは短期金利が低下に転じたことによるフラットニングの巻き戻しからスティーピングに転じ、クレジットスプレッドは信用債利回りが安定している一方で利付債利回りの上昇が続いたことから縮小に転じている。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	51.0 / 53.5
1M	152.0 / 154.0
3M	458.0 / 463.0
6M	865.0 / 875.0
9M	1257.0 / 1266.0
12M	1660.0 / 1666.0

対ドル基準レートは、6.4710と前週末比+1pipsとほぼ前週末並み、対円基準レートは6.1296と同-725pipsの円安元高での設定となっている。米国長期金利が上昇し、欧州の政治情勢からユーロが売られるドル高要因と中国本土への投資資金流入による人民元高要因が拮抗し、春節を控えていることもあって狭いレンジ内での取引が続いている。

先物は、人民元金利の高止まりや郊外からの投資ニーズを映じてスワップ幅も高止まりが続いており、1年では1600を上回る水準での取引が続いている。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.61%		2.23%
6M	2.65%	2.95%	2.28%
9M	2.66%	3.05%	2.29%
1Y	2.68%	3.14%	2.29%
3Y	2.96%	3.45%	2.42%
5Y	3.04%	3.63%	
7Y	3.16%	3.79%	
10Y	3.31%	3.95%	

債券利回りの上昇が続いたことを受けてスワップ金利も上昇しているものの、短期の上昇は限定的となったことからスティーピングに転じている。

債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは全期間において拡大している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。